

放射線科の外来受診（入院診療）を受けられた患者さんへ

【研究課題】 フローダイバーターステンツ治療後の効果判定における超短エコー時間非造影脳血管撮像（MRA）の有用性に関する後方視的研究

1. 対象となる方

2023 年 5 月～2024 年 12 月の間に、当院で内頸動脈瘤、椎骨動脈瘤の疾患にてフローダイバーターステンツを用いた脳血管内治療を行い脳・血管 MRI 検査を受けられた方。

2. 研究目的・意義

本研究は、フローダイバーターステンツ留置後の画像診断における超短エコー時間非造影脳血管 MRI の有用性を明らかにすることを目的としています。この研究の結果からは、フローダイバーターステンツ留置後の脳血管 MRI 検査における、診断精度の向上や検査時間の短縮が得られるなどの臨床的意義が期待されます。

3. 研究方法・研究に用いる試料・情報の種類

この研究は、通常の診療で得られた過去の画像データを再解析し、フローダイバーターステンツ治療後の画像診断における超短エコー時間非造影脳血管 MRI 撮影の有用性を評価するものです。

【利用するカルテ情報・資料】年齢、性別、脳血管 MRI の目的、脳血管 MRI 画像

4. 利用又は提供を開始する予定日

2025 年 4 月 20 日

5. 研究期間

2025 年 4 月 20 日 から 2026 年 12 月 31 日まで

6. 個人情報等の取り扱い、外部への試料・情報の提供

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は研究終了後 5 年間保存いたします。

7. 研究の資金源及び利益相反

本研究は当該施設の研究費で行われており、特定の企業などからの支援は受けておりません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭およ

び個人との関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

8. 研究組織

【研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター中央放射線部 綾部 佑介

9. 対象になることを望まない場合の申し出 及び お問い合わせ先

① 対象になることを望まない場合

本研究へ臨床データを提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に臨床データを使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの臨床データは研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。患者さんの臨床データを使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の研究責任者に2025年12月31日までの間にお申し出下さい。

② お問い合わせ

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、本研究に関して苦情がありましたら【苦情の窓口】に平日の8時30分から17時までにご連絡をお願いします。

【照会先】

研究責任者：自治医科大学附属さいたま医療センター

中央放射線部 綾部 佑介（あやべ ゆうすけ）

住所 〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847

電話 048-647-2111（代表） 内線（2608）

【苦情の窓口】

自治医科大学附属さいたま医療センター 総務課

電話 048-648-5225